

奥秩父 大洞川手戸沢

日程:2008年7月5(土)

メンバー:L 白土(記)、齋藤

手戸沢はあまり知られていない沢であるが、短い沢でありながら滝が次々と現れてなかなか楽しい沢であった。

行程:

7/5(土) 大洞林道駐車スペース 6:50~7:20 手戸沢出合~10:30 伏流(下降開始)~14:00 手戸沢出合~14:30 大洞林道駐車スペース

1/25000 地形図:三峰、雲取山

7/5(土)

会山行の渡渉トレが奥秩父の入川であり、その前日にもどこかの沢に登りたいと思って探してみた。日帰りの沢としては手戸沢が手ごろでよさそうなので計画した。和名倉沢はとても有名であるが、手戸沢は和名倉沢から尾根を挟んで南側にある。前夜のうちに、大洞林道と三峰林道の分岐近くの駐車スペースにテントを張って寝た。ここのことこの参考計画は2週連続で雨中止になっているが、今週末はなんとか天気は持ちそうだ。

駐車スペースから50mほど南側へ行った1つ目のカーブに水量計測小屋があり、そこから大洞川へ下降する。急斜面で帰りの上り返しが大変そうだ。大洞川に降り立った付近が手戸沢出合である。正面に8mの滝が見える。その次の7mは水流右を登る。3m窓の滝は水流左に登れそうだが、落口が悪そうなので右から巻いた。9m滝はシャワークライミング。

最初は水流左から取り付いて滝の中間地点でハーケンを1本打ち、そのあと水流を越える。苔むしたクラック沿いに水に打たれながらのシャワークライミング。思った以上に水量がある。息ができなくて苦しい。しばらくゴロ歩きとなり、5mナメ滝が現れる。沢が開けて明るくなり伏流となる。登るのはここまでとして同ルートを下降する。クライムダウンと懸垂下降5回で大洞川に戻った。大洞林道までの上りは踏跡を見つけて急登を登る。

鹿にはたくさん会ったが人には誰にも会わなかった。このエリアは1泊2日の沢が多いが、手戸沢は登れる滝も多く日帰りであればおすすめの沢である。

手戸沢遡行後に入川へ移動し、溪流釣場奥の矢竹沢出合の河原にテント張って泊まった。沢での焚き火はやはりいいものだ。心配していた雨も降らず、快適な一夜であった。翌朝、渡渉トレのメンバーと合流して赤沢谷出合まで移動。トレーニングでは沢山泳いだが水が冷たい。きれいな沢だ。